

- 1 令和7年7月18日(金曜日)午前10時00分から正午
- 2 マイドームおおさか 4階 研修室
- 3 議事

(1) 令和6年度 事業実績の評価について【審議事項】

(評価委員)

○令和3年～5年のアンケート項目の結果について、ほぼ数字が同じである。質問の内容を見直していくことが必要なのではないかと。事業費補助に変更後、一定程度、仕組みが整ってきたということがあるのであれば、どこかで見直していくことも大切なのではないかと。まずは天井効果やフロア効果が出てきているのではないかとという観点で確認してみるのが良いのではないかと。

○また、順位をつけることは目的ではないのではないかと。評価の本来の目的が何なのかを考えていけないといけなのではないかと。

(事務局)

○アンケートの見直し等については、また委員からもご意見いただきながら検討する。

(評価委員)

○年度別支援メニューを見ると、「事業計画作成」が減少しているが、事業計画の作成は経営にとって大切なことだと考える。日常的に事業計画をしっかりと作成し、PDCAを回していくことは経営上取り組まなければならないことであるように思う。

○また、レーダーチャートについては、団体に自己評価も実施してもらい、レーダーチャートの結果と相似形になっていれば問題ないとするが、そうではない場合については、その部分は団体にとって課題となっている部分と考えることができるのではないかと。そのような使い方も一つあるだろう。

(事務局)

○委員からご提案いただいた自己評価と組み合わせ結果を分析することについては、団体へのフィードバックできる内容の一つとして検討する。

(評価委員)

○アンケートの項目で全項目が下がっているところは要注意ポイントではないかと。下がり始めは、特に注意した方が良く考える。

(事務局)

○項目別の評価点は全団体の平均となっている。そのため、平均点では下がっていても、評価が上がっている団体もいる。

○また、このアンケート上では各団体の特徴を拾い切れているとは思っていない。委員からのご意見も踏まえ、対応方法を検討する。

(評価委員)

○経営課題が多様化している中で、アンケート結果もそこに影響を受けている部分もあるのではないかと。また、ベテラン経営指導員の異動があると結果が下がってしまうこともあるのではないかと。

(事務局)

○相談内容の多様化やベテラン指導員の異動は、確かにアンケート結果に影響するものだと考えている。今後、ベテラン経営指導員のノウハウをどのように継いでいくのかは重要であるとする。

(評価委員)

○地域活性化事業の方の評価結果についてだが、評価項目の中に審査時に入っている「目的の妥当性」が入り込んでいる。評価項目の継続性の観点からも、変更するという部分のインセンティブがあまりないことは理解できる。

○ただ一方で、事業の実行結果がより見えるように評価できるようになれば良いのではないかと考えている。全体に占めるウエイトが高くなっていることが違和感になっているのではないか。そのような部分からも一度検討してほしい。

(事務局)

○アンケート同様、評価基準等についても、審議会からの意見も踏まえて進めてまいりたい。

(評価委員)

○また、2年ルールを導入により、点数がとりやすい事業に寄っていくのは仕方ない部分があるが、新しい事業を提案できるような制度として運用していくことは大切である。

○新しいものを必須事業に設定することは、可能であったのか。

(事務局)

○ご質問の件については、可能である。

○委員が仰るとおり事業の硬直化している部分については新陳代謝を図り、新しい事業を生み出せるように実施していきたいと考える。

(2) 経営相談支援事業の支援メニュー改正について【審議事項】

(評価委員)

○制度対応等の「等」は、5S 支援以外も含まれるのか。

(事務局)

○ご認識の通りである。「等」の部分については、事業者さまからの相談内容によって、現状想定されていない内容もあると考えている。

(評価委員)

○5S 支援については、単価が変わるものであるか。

(事務局)

○ご認識の通りである。ただし、本メニューについては、まずは広く相談の間口を設定するものである。今までカルテ化できていなかった相談内容についても広く対応するために新設するメニューである。また、既存メニューで対応できるものについては、そちらで対応するものとして想定している。

(評価委員)

○承知した。

(3) 小規模事業経営支援事業の効果的・効率的な事業運営に向けた検討について【報告事項】

(評価委員)

○I 事業者あたりの支援時間が短くて、量を多くこなす方が単会としては良いと考えているのか。この調査結果からは、判断できないこともあるのではないかな。

(事務局)

○委員ご認識の通り、例えば、経営相談支援事業ではなく、地域活性化事業に力を入れている団体もあるということもこの結果だけでは読み取れない部分である。また、カルテについては、支援に必要とされる時間の長さや難易度によって単価が異なっている。そのため、時間だけで全てが計れるものではないと考えている。

(4) 事務の共同処理に係る事業の進捗状況について【報告事項】

(評価委員)

○共同システムの部分に府の補助金に関する業務も入ると、事務の効率化につながるところもあるように思うがいかがかな。

(事務局)

○一部の団体においては、kintone にてカルテの作成を実施しているところはある。

(評価委員)

○団体の負担も府の負担も減らせるように進めていければ良いのではないかと考えている。

(事務局)

○今回の共同処理については、府の事業だけではなく、その他の業務も含めて、全体で業務改善を図っていきたいと考えているため、このような進め方になっている。

(評価委員)

○承知した。

(5) 令和7年度 大阪府小規模事業者等支援施策評価審議会スケジュール【報告事項】

・特に意見なし。

閉会